

## ◆ 城崎小学校 出前講座でフェリー乗組員とエール交換も! ◆

平成29年10月27日に越前町立城崎小学校において5年生16名を対象にした出前授業を行いました。これは社会科授業で小学生向け港湾学習教材の「港の大研究」を使って学習したことから、名古屋港の自動車輸出の状況や敦賀港の役割などについて更に勉強したいと学校から依頼があったものです。

城崎小学校は海岸の高台に位置しているため、教室から敦賀港毎週月曜日10時発の新潟・秋田経由の苫小牧行き新日本海フェリー(「らいらっく」「ゆうかり」の2隻)がよく見えることから港に興味を持ったとのこと。

当日は6年生8名も追加出席し、最初に貿易額日本一の名古屋港のPR用DVDを見て自動車産業などの製造業が港の周辺に集積していることを学び、その後に事務所広報担当の清水保全係長が講師となって敦賀港の現状と役割りを勉強しました。

この出前授業にあたり、新日本海フェリー敦賀支店からは資料の提供を受けると共に、フェリー「らいらっく」の乗組員から5年生に宛てたメッセージ色紙も贈られ、思わぬプレゼントに歓声が上がりました。この色紙には海上のフェリーから撮った城崎小学校の写真も貼られてあり、「お互い見えているよ」とエール交換がされました。

資料とメッセージ色紙をご提供いただきました新日本海フェリー敦賀支店の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



城崎小学校の出前授業の様子と新日本海フェリー「らいらっく」から寄せられたメッセージ色紙



## ◆ 敦賀伝統行事の「夷子大黒綱引き」が復活 ◆

平成30年1月21日(日)、400年以上の伝統があるとされている国の重要無形民俗文化財「夷子大黒綱引き」が2年ぶりに敦賀市相生町の旧西町通りで行われました。昨年は地域の高齢化による担い手不足などにより一旦途切れましたが、地元の粋を越えて市民団体等が実行委員会を組織して復活にこぎ着けました。

神事が終わると夷子神と大黒神が衣装と面を付けて登場し、「夷子勝ったー、大黒勝ったー、えんやーえんやーえんやー」との掛け声と共に町内を巡りました。引き綱は稲藁製の直径30cm、長さ50m・重さ500kgの大縄で、綱引き前まではこれも稲藁で作られた俵や簀等の農具、鯛やタコなどの魚介類や釣り針などが飾られています。

合図と共に多くの参加者が大縄にしがみついてがむしゃらに引っ張ります。2分余りの勝負で今年は夷子方が勝利して「大漁」との結果となりました。

ちなみに大黒方が勝つと「豊作」となるとのことです。



夷子神と大黒神の町内練り歩き

## ◆ 敦賀庁舎移転と福井分室閉庁のお知らせ ◆

当事務所は平成29年10月10日から敦賀地方合同庁舎(3F)へ移転しました。今後も、「港の元気は福井の元気」をモットーに港づくりや水辺の賑わいづくりを通じ地域への貢献を果たしていきたいと存じます。

また、福井港海岸事業の完了に伴い、福井分室は平成30年3月30日をもって閉庁いたします。



敦賀港湾事務所ホームページ  
<http://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp/>  
 北陸地方整備局 港湾空港部ホームページ  
<http://www.pa.hrr.mlit.go.jp/>  
 「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル  
 大いに 良くなれ みなと  
**0120-497-370**  
 ※海やみなとに関するご意見、ご感想をお寄せください。

## ◆ 福井港海岸直轄海岸保全施設整備事業が完成しました! ◆

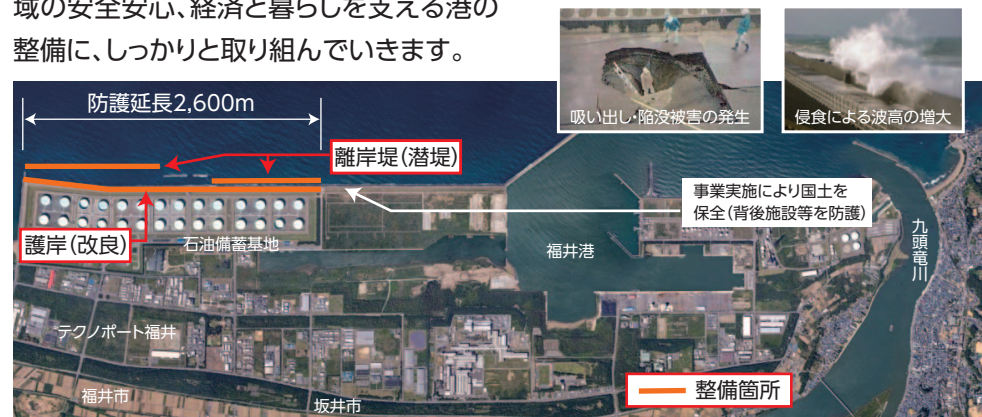
平成30年1月14日(日)、坂井市センチュリオンホテル リゾート&スパ テクノポート福井において、福井港海岸直轄海岸保全施設整備事業完成式典が開催されました。

福井港背後には福井国家石油備蓄基地や福井県最大の工業団地「テクノポート福井」が整備され、地域の経済、産業を支えています。一方、備蓄基地前面では、厳しい波浪で侵食が進み、増大した波高で消波ブロックの飛散沈下、著しい越波(えっぱ)が生じ、護岸機能が低下。陥没やフェンス倒壊が多発し背後への甚大な浸水被害が懸念されました。

このため、平成16年度から直轄海岸保全施設整備事業として、離岸堤(潜堤)により波浪を抑制、護岸(改良)で吸出防止及び液状化対策による護岸強化を実施してきました。本事業で背後への浸水被害を回避し、国家石油備蓄基地の緊急時の石油供給体制や背後に立地する企業の安定した活動を支えることが可能となりました。

式典では、西川福井県知事、国土交通大臣(代読)の挨拶に続き、稲田衆議院議員、東村福井市長及び坂本坂井市長から祝辞を頂いた後、目録引渡し、くす玉開披により大いに完成を祝いました。また、式典に先立ち三国中学校郷土芸能部(県内唯一)がフレッシュで力強い演奏を披露しました。

本事業は完成を見ましたが、引き続き地域の安全安心、経済と暮らしを支える港の整備に、しっかりと取り組んでいきます。



福井港海岸 事業位置 (撮影:平成25年9月)



「くす玉開披」参加者 による記念撮影



「目録引き渡し」小俣局長から西川福井県知事へ



三国中学校郷土芸能部 太鼓演奏



[2017年 秋冬号 Vol.50]



### 目次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| ● 福井港海岸 直轄海岸保全施設整備事業が完成しました! | P1 |
| ● 敦賀港に外航大型クルーズ客船が初寄港!        | P2 |
| ● 完成輸出用自動車の代替輸送訓練を実施         |    |
| ● 敦賀港湾事務所合同安全大会が開催されました      |    |
| ● 北陸の港湾を考える懇談会が開催されました       | P3 |
| ● 敦賀市議会議員が敦賀港を視察             |    |
| ● 出前講座でフェリー乗組員とエール交換も!       |    |
| ● 敦賀伝統行事の「夷子大黒綱引き」が復活        |    |
| ● 敦賀庁舎移転と福井分室閉庁のお知らせ         | P4 |



## ◆ 敦賀港に外航大型クルーズ客船が初寄港！ ◆

平成29年の敦賀港には8月1日と8月6日に「ぱしふいっくびいなす」、9月2日に初寄港となる「ダイヤモンドプリンセス」、9月23日「飛鳥II」、10月14日には「ダイヤモンドプリンセス」が2回目の寄港し、合計3隻、5回の寄港がありました。敦賀港湾事務所では、クルーズ船の見学会を普段見ることが出来ない海上から見学してもらおうと広くお知らせしたところ、定員300名に対して3千人以上の応募が有り、クルーズ船への関心が高いことがわかりました。見学会は当所所有の港湾業務艇「まつかぜ」に乗船し、30分程度の短い時間ですが、敦賀港に寄港した大型客船を海上から見学しました。乗船者は、間近から見る大きな客船の写真撮影に大忙しでしたが、港の役割に関する説明にも耳を傾けていただきました。下船後に「間近で見られて良かった」など、皆さん満足そうに下船していきました。ダイヤモンドプリンセスは平成30年4月17日(火)敦賀港に寄港する予定です。当日も海上からの見学会を計画しています。詳細は3月中旬に事務所ホームページ等でお知らせします。皆様のご応募お待ちしております。



海上から見るダイヤモンドプリンセス



海上見学会の様子

## ◆ 敦賀港で完成輸出用自動車の代替輸送訓練を実施 ◆

トヨタ自動車は平成29年10月10日(火)に南海トラフ巨大地震により太平洋側港湾が長期使用できなくなることを想定し、敦賀港を代替輸出港として活用した実証試験を行いました。災害時の事業継続計画(BCP※)の一環で、本州の日本海側港湾で初めて行われました。敦賀港は平成23年の東日本大震災において物資や支援要員の輸送に利用されており、災害時における役割も期待されます。

今回の輸送訓練は愛知県内の工場から完成自動車50台を陸送で敦賀港に運び、敦賀港から豊洋丸(800台積み込み可能)で北九州港へ輸送、その後は東南アジアへ輸出する実動訓練です。

※BCPとはBusiness Continuity Planのことで大地震等の自然災害等が発生しても、当該港湾の重要機能が最低限維持できるよう、自然災害等の発生後に行う具体的な対応(対応計画)と、平時に行うマネジメント活動(マネジメント計画)のことをいう。



自動車輸送船「豊洋丸」



輸出訓練の出番を待つ完成自動車

## ◆ 敦賀港合同安全大会が開催されました ◆

平成29年9月29日(金)、請負工事における労働災害防止のため、安全確保の取組み強化・安全管理意識の向上を目的として「敦賀港湾事務所合同安全大会」をセンチュリオンホテル(テクノポート福井内)で開催しました。

大会は、多数の港湾関係工事業者の参加の中、北陸地方整備局から港湾工事における労働災害の事例・安全対策等の報告、福井労働局からの安全講話、福井港海岸(福井地区)工事安全対策協議会から現場における安全対策の好事例の紹介に引き続き、同協議会代表者による「安全宣言」により労働災害防止の決意を共有しました。



## ◆ 北陸の港湾を考える懇談会が開催されました ◆

平成29年10月25日(水)、東京都内において、国会議員や港湾所在市町などの関係者が集まり、福井県内各港湾の現状や抱える課題、整備促進や利活用に向けた取組などについて意見交換会を行いました。

当所高野所長と福井県港湾空港課山内課長が港湾を巡る情勢等について情報提供を行い、続いて参加各首長等からの意見表明の後、出席者との意見交換を行いました。

意見交換会ではクルーズ客船誘致や観光振興に関する取組、各港の整備促進への期待など、活発な意見交換が行われました。



意見交換会の様子



前列右から、おおひ町清水副町長、坂井市坂本市長、敦賀市湊上市長、高浜町野瀬町長、福井市牧野建設部次長

## ◆ 敦賀市議会議員が敦賀港を視察 ◆

平成29年10月12日(木)、敦賀市市議団16名が敦賀港の役割等を調査するため、当所所有の港湾業務艇「まつかぜ」により敦賀港内を視察しました。

当所高野所長が国内外の物流を担う敦賀港の役割等を説明し、議員からはクルーズ船の着岸可能な場所、必要な設備、物流に関する事項など多くの質問が出されました。海上から敦賀港を初めて見る方もおり、熱心に写真撮影をされていました。



敦賀港を海上視察する敦賀市市議団